

猛暑

自宅に「節電」貼り紙

独居高齢者エアコンつけず

猛暑が続く、高齢者が工 用する電気料金が気がかりで利

エアコンをつけなかったこと 用しない人もいます。実態

で熱中症になり、命を失う をみてみました。

ドアを開けると目に飛び 込んだのは「節電」の

痛ましい事態が相次いでい

貼られたのは「節電」の

ます。エアコンを、生活困

で強調。部屋の3カ所に、

獨が原因で設置できない人

貼られていました。

もいれば、あっても高すぎ

今年、古いエアコンが故



エアコンの電気代を「節電」しようと呼びを貼った熊谷さん(東京都台東区)

気が全く違う。生活保護利用者など低所得者へのエアコン交換・設置補助が緊急に必要だと話します。

東京都監察医務院によると、7月

障したので買い換えまし た。電気代を浪費しないよ う「自分への戒め」だとい います。「出かける時に電 気 ガス 水道 指差呼 称」の貼り紙も。

マンション6階の自宅南 側には、強い日光が差し込 みます。午後4時半ごろで も、室温は30度近く。記者の 首筋に汗が垂れます。熊谷 さんは配管の気持直しを察し たのか「暑いのか、エアコン

をつけてくれませんか。 普及は夏間、エアコンを つきません。窓を閉め、扇 風機を過ぎして使います。「窓を 開けても熱風だしね、扇風 機も壊れて…。1週間ほど 我慢して、水をがらがら飲 んでいたら体調が悪くなっ た」と話します。

日本共産党の秋田洋区議 は「暑の紙を見て涙が出た。 独り暮らしの『節電』で暑 のせいで困窮者の 生活を苦しめてはいけない」と話した。(2017年)

全国生活と健康を守る会 連合会(全生連)は、夏場

のエアコン使用の電気代支 援や光熱費に充てるための 生活保護の「夏手当」の 新設を提言、求めてきてし た。厚生労働省は「電力費 気代が増えるユーザーがな る」として「夏」に夏手当の 必要性を認めず、

いないと全生連の前田義華 副会長は話します。「猛 暑のもので困窮者の 生活を苦しめてはいけない」と話した。(2017年)

暑い夜 命懸けの節電

1面のつづき

東京都台東区の熊谷新(めらた)さん(95)は、8年前に妻が亡くなり独り暮らしだ。国民年金と生活保護を利用して月約8万円の収入です。朝食はとらず、週に4日デイサービスに通い、ここでの昼食と、夕食は1食450円の宅配弁当です。

夜は29度になったらエアコンを26度に設定し、タイマーで30分で切れるようにします。「寝ていると暑くて夜中に何度も覚まします」。暑くなれば起きてまたエアコンをつける繰り返しです。「表の空気も暑いし、一人だからしょうがない」と諦め顔です。

「配食サービス、光熱費、デイサービスの

昼食代、補聴器の電池代などを支払うと、残る生活費は2万円ほど。1日600円ほどで賄わないといけない。エアコンで『節電』しないと、やっていけない。生活保護費を上げてほしい」と声を絞りだしました。

総務省消防庁によると、7月24〜30日の熱中症による救急搬送車は全国で1万1765人で今年の最多を更新。死者は18人。65歳以上の高齢者が664

生活保護費の夏季加算早く

4人で全体の65%を占め、発生場所は「住居」が5014人で最多でした。

2022年夏季(6〜9月)、東京23区の熱中症死者数を東京都監察医務院の資料で見ると206人。6月58人、7月63人、8月83人、9月2人でした。年齢別では40代が3人、50代が9人、60代が34人、70代が71人、80代が75人と高齢になるにつれて増加(グラフ)。屋内の死

亡者は194人で、そのうち165人は未設備や故障の場合も含めて「エアコンが使われていなかった」と同院はコメントしています。

全生連の前田美津恵副会長は「2013年から生活保護費が削られています。生活保護費のうち生活費に充てる生活扶助は70歳になると下がります。かつては高齢者の保護利用者には老齢加算がありました。06年に全廃され高齢者は特に大変です。早急に夏季加算のような支援が必要です」と強調します。

熊谷さんは難聴ですが携帯電話を放しませません。「特段、友達がいるわけじゃないけどな」と笑います。独り暮らしでの猛暑とのたたかいは続きます。

熱中症年齢別死者数(2022年8~9月)

